

## 新事業

2025年問題が迫っており、看護職員の確保が急務である。現在、県内看護師等養成所への入学者は増加しているが、学年定員充足率は87%となり、県内在住者の入学者の割合は75%となっている。また、卒業後県内定着率は約90%と高く、より上昇させる必要がある。そこで、2025年に一定の技術と経験を有する看護職員を確保するために、今、高校生に対して啓発を行い、看護職の魅力を発信することで興味と関心をもって就業意欲を高めることを目的としている。

# 「届けます！看護の魅力配達事業」

平成26年度、県の委託事業より標記事業を開催しております。

滋賀県内の高等学校より希望のあった19校に「看護の魅力」を地域の病院や訪問看護ステーション、福祉施設の看護職から高校生に対してお話をして伝えています。

8月現在、8校に訪問し114名の参加がありましたのでお知らせいたします。

猛暑の中、「将来看護師になりたい！」「看護師に興味がある！」等の思いがある高校1年生～3年生が集まり、おおむね50分の限られた時間のなかでしたが、目を輝かせていました。

参加した高校生の方が1人でも多く、看護職になりたい夢へのきっかけと実現ができることを願っています。

2学期からも伺い、「看護の魅力配達事業」を行いたいと思いますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



高校生の感想より

- ・人生の大切なときに関わる社会的責任のある職業であるが、「自分の成長とともに、憧れの看護師は変化していく」という言葉のように、やりがいがありとても素敵な職業だと思った。
- ・「看護師になる」という夢を叶えるために、今はひたすら勉強していきたい。
- ・私は、今日の話聞いて看護職になりたいと思う気持ちがとても強くなった。
- ・色々なことが知れてよかった。後悔のないようにしっかり勉強しようと思った。



進路担当教諭より

・生徒達には、興味や関心が深まる話であり、医療職に強い思いを持った。キャリアアップできる機会やスペシャリストを目指すことや具体的に「看護とは」のお話も聞け、わかりやすく「看護」というものを受け止めることができた。